

250 立命館大学 文学部 人文学科 日本文学研究学域 合格

まず、最後まで何があっても志望校を諦めないでほしいです。私は最後の模試でも志望校は E 判定でしたが、それでも志望校を変えず受験して合格できました。ぜひ諦めずに、行ける大学ではなく行きたい大学への合格を目指してください。

私は受験勉強で後悔したことがあります。

一つ目は勉強を始めるのが遅かったことです。周りは夏休み前から勉強を始めていましたが、私が受験勉強を始めたのは夏休み明けからでした。放課中もクラスメイトがずっと勉強をしているのを見てやっと焦り始めました。しかし、それから怠けてしまうことが多々あって、もっと早く始めていればよかったと思いました。

二つ目は社会系の科目の勉強を疎かにしたことです。私は国語と英語にたくさん力を注いでいて、日本史は後回しにしてあまり勉強しませんでした。その結果最後の模試で日本史がガタ落ちして得意だった科目なのに足を引っ張ることになりました。社会系の科目をはじめに固めることをお勧めします。

次にやってよかったことを紹介します。

一つ目は特別奨学生等の年内入試（学力試験のみ）で一般入試の前に合格を一つ取っておくことです。私はこの入試を受験して一つ進学先を確保しておくことで、併願校受験を減らして第一志望の大学の全日程を心置きなく受験することができました。一つ進学先を確保することで安心しすぎて勉強をしなくなる懸念はありましたが、第一志望を諦めない確固たる意志があれば大丈夫です。

二つ目は SNS やゲームを消すことです。勉強の最大の敵はスマホです。私は SNS の代わりにスタディプラスというアプリを入れて友達と繋がり、アプリで勉強時間を記録してシェアしていました。自分の勉強を可視化し、友達の頑張りも見ることができたので、勉強している実感と 1 人じゃないのだと勇気を持てました。

三つ目は補習をきちんと受けることです。受験期後半になると、補習を欠席する人が必ず出ます。それを見て自分も休もうかと思うことが一度はあると思います。しかし、安易に欠席してはいけません。補習で学んだことは皆さんの強い武器になります。きちんと補習を受けた自分は偉いという自信も持てます。

心が折れそうなほど辛い時期もあると思いますが、皆さんならきっと大丈夫です。皆さんの合格を心から祈っています。

251 南山大学 総合政策学部 総合政策学科 合格

僕が受験勉強を通して皆さんに伝えたいことは 3 つあります。

1 つ目は、あらゆることに対してポジティブに考えることです。真面目に勉強していても思うようにいかないことは絶対にあります。僕も模試で思うような結果が出なかったことや演習問題が全く解けなかったことは何度もありました。しかし、落ち込むのはその日のみ

にして翌日には気持ちを切り替えてください。悲観的に考えても何も得るものはありません。後ろを見るより前を見て、目先の課題に取り組んでいってください。

2 つ目は、時間の使い方についてです。僕は受験期には、毎朝 7 時 30 分に登校して ST が始まるまで英単語や英文法の勉強をしていました。僕は 3 年の 5 月まで部活動をしていたので、朝のこの時間で勉強不足を補うことができました。また、毎日遅くても夜 12 時までに就寝し最低 6 時間以上の睡眠をとることを心掛けて、次の日に疲れを残さないようにしました。そして、勉強中も 50 分集中、10 分休憩のサイクルを作って勉強をしていました。時間は有限です。それをどのように使うかで結果は十分に変えることができると思います。だからこそ与えられた時間は有意義に使って欲しいです。

3 つ目は、自分の実力を過信しすぎないことです。僕は高 3 の第 1 回模試の日本史でいきなり高得点を出しました。しかし、同じ模試で国語と英語の点数は低かったので次の第 2 回模試までの間は、英語と国語の勉強に多くの時間を費やして日本史は殆どやりませんでした。その結果、勉強していた国語と英語は模試で点数がそれぞれ 20 点ずつ上がりましたが、日本史は 30 点以上落ちました。得意教科は共通テストや 2 次試験でも得点源になることが多いので、良い点数が取れた時ほど油断せず、気を引き締め直して勉強してください。

最後に勉強はもちろん大事ですが、普段の学校生活を疎かにしないでください。努力し続けた人が受験も成功すると思います。自分の第一志望に合格できるように頑張ってください。

252 南山大学 法学部 法律学科 合格

私が受験生として大切だと感じたことをお伝えします。

1 つ目は補習です。必要だと思う補習は積極的に取りましょう。補習は休まないことが前提です。そして、復習するまでが補習です。私の場合は補習の内容全てを復習するわけではなく、補習の中で分からなかった問題だけをもう一度解き直していました。そして、なぜその答えになるのかを考えたり、調べたりしていました。それだけでも補習の内容は忘れなかったもので、効果的だったと思います。

2 つ目はやるべきことを先延ばしにしないということです。これは特に夏休みに意識してください。夏は受験の天王山です。この時期に補習で疲れたからとか明日も休みだからといった理由で、自分のやるべきことを先延ばしにしてはいけません。いつの間にか夏は終わってしまいます。私は基礎固めを 9 月まで持ち越してしまいました。その結果赤本を解き始める時期が遅くなってしまい、周りが 7・8 年分過去問を解いている中私は 5 年分解くのがやっとでした。『明日やろうは馬鹿野郎』です。

そして一番大切なのは絶対に諦めないということです。私は 10 月の共テ模試で南山大学の判定が E まで下がりました。その時は南山大学には受からなくてもいいと口では言っていました。それでも志望校の中から南山大学をなくすのは悔しくて、最後まで第一志望を変

えませんでした。1%でも「受かりたい」とか「そこに通いたい」といった気持ちがあるなら、最後までそれを大事にしてください。

受験は1人では乗り越えられません。周りの支えがあってこそ乗り越えられるものです。そういう意味でも『受験は団体戦』なのかなと思います。皆さんが1年後、笑顔で受験を終えられることを願っています。

253 南山大学 総合政策学部 総合政策学科 合格

私が1年を通して大切だと思ったことを4つ書きます。

1つ目は基礎固めです。英単語や英文法、古典単語、古典文法などは夏休みまでに固めておいた方が良いでしょう。日本史の一問一答は知識が細かく基礎が固まっていないと膨大な時間がかかるので、手をつけようと思っている人は基礎が本当に固まってから自分に足りない知識を補う感じで使うのが良いと思います。私は秋から始めました。

2つ目は継続することです。私は英文法や古典文法を早い時期に固めたのは良かったのですが、その後放置してしまったため、冬頃に頭からところどころ抜けている状態になってしまいました。どれだけ完璧だと思っていたても、直ぐに忘れてしまうので頻繁に復習をしてください。

3つ目はスマホの制限です。私は勉強の1番の敵はスマホだと思っていたので、1年間LINE以外のスマホの制限を全体で10分にしていました。友達にパスワードを設定してもらっていたので自分で解除することができず、勉強しやすくなったのでおすすめです。

4つ目は、隙間時間の活用です。私は通学時に電車で英単語を見たり、英語を聞いたりしていました。また、10分の放課では漢字や英熟語を勉強していました。夏休み明けからは3時間目と4時間目の間に昼食をとり、昼休みは友達と一緒に勉強していました。隙間時間だけでも沢山勉強できたので、おすすめです。

去年の今頃の私は受験まで長すぎると感じていましたが、毎日勉強して過ごしていくと本当に一瞬です。努力した経験は、これから先何か頑張ろうと思った時、絶対に生きてくると思っています。後悔することのないように頑張ってください。応援しています。

254 愛知教育大学 教育学部 学校教員養成課程 義務教育専攻 国語専修 合格

この1年間を振り返ってみて、受験勉強において大切だと思ったことをいくつか紹介します。

まず、国語と英語の勉強は早い時期からこつこつと続けることです。これらは他の教科と違い、ある時急にできるようになります。そのため、毎日少しでもいいから文章に触れてください。そして早く読むことに慣れ、感覚をつかめるとよいです。また、英単語や漢字も毎日続けてください。どれだけ読み続けても、単語が分からないと読めません。特に古文単語

と英単語は受験のときまで知識を蓄え続けましょう。

次に勉強を楽しむことです。やはり楽しくないと続かないし、勉強している間も苦痛を感じるようになります。どんなに小さなことでもいいので、楽しいと思えるように工夫することをお勧めします。私が良かったと思うことは、友達と電話しながら勉強することです。休憩中に話すこともできるし、一人で家で勉強する時より集中できるようになります。また、苦手でも楽しいと感じる教科は、きっと後で伸びます。私は実際に化学基礎で感じました。苦手でも得意でも、楽しいところを見つけて頑張ってください。それだけで演習量は増えるし、勉強意欲が上がります。

最後に、油断しないことです。どれだけ判定が良くても今までどおり勉強は続けてください。もちろん全く油断しないのは無理だと思います。ただ、そこで手を抜いたら頑張っている人にどんどん抜かれていきます。判定が芳しくなかった人が最後に合格を決めることがあるように、今まで判定が良くても最後悔しい結果になることがあります。だから絶対に最後まで頑張り続けてください。

受験の1年間はずっとどこか不安な気持ちで過ごすことになると思います。成果が出ない、問題が解けないなど、やめたくなる時があると思います。でもそれは自分だけではありません。周りも同じ思いをしています。だから友達同士励まし合いながら頑張っていってください。

それでは、皆さんが笑顔で春を迎えられますよう祈っています。

255 愛知県立大学 教育福祉学部 教育発達学科 保育幼児教育コース 合格

私は吹奏楽部に所属しており、8月のはじめまで部活と勉強の両立をしていました。しかし、実際は勉強が部活の疲れで疎かになっていました。そんな中で、夏の共テ模試でA判定を取りました。嬉しさよりも、全然勉強してないのになんで取れてしまったのだろうと、大きな疑問、不安がありました。A判定を取れているのに悩んでいることを友達に相談することもできず、精神的に疲れている時、仲の良い友達に悩みを少しだけ話してみると、その友達も私と同じ様な悩みを抱えていました。この経験から私が皆さんにお伝えしたい事が3つあります。

1つ目は、勉強ができる環境を自ら作るべきだということです。部活の疲れで勉強が疎かになったと言いましたが、部活の帰りに家に寄らずに塾に行った日は、勉強時間を確保することができました。ダラダラしたいとか休憩したいという気持ちを根性で抑えてください。私はこの環境作りが受験で1番の我慢ポイントであり、1番合格に近づくポイントだと思います。

2つ目は、A判定だからこその不安を分かってくれる人もいるということです。私は「A判定を取れたからと言って油断しちゃダメ」とは言いません。自分でも分かっているのにやる気が出ない、できない苦しさを分かってくれる人は必ずいます。分かってくれる人がいる

と思うだけで精神的に少し安定すると思うので、もし苦しくなったら、これを思い出してください。

3 つ目は、一緒に頑張ってくれる友達を見つける事です。前半で出てきた、不安を打ち明けた友達とはお互い相談にのったり、電話しながら一緒に勉強したりしました。2 人とも二次試験で国語の記述があったため、同じ問題を解いて分からない所は一緒に先生に質問しに行きました。一緒に頑張れる友達がいる事で、実際の学習にも精神的にも良い影響がありました。

辛いこともあると思いますが、頑張ってください。

256 名古屋大学 工学部 機械・航空宇宙工学科 合格

受験で大切だと思うことを「勉強の仕方」「勉強時間」「メンタルの持ちよう」「スマホとの向き合い方」の 4 つに分けて書きます。

まず勉強の仕方について書きます。暗記系には音読を実践してみてください。より多くの五感を刺激することで暗記しやすくなるそうです。授業の受け方は、復習を大事にしてください。過去問は、最低 8 年分 3 周はしましょう。最後に、一度勉強してわからないことがあったら復習だけして次に進みましょう。1, 2 カ月後に見返すと簡単にわかることが結構あります。その問題に 1 時間向き合うよりほかの問題を 1 時間解きましょう。

次に勉強時間について。勉強時間は人それぞれです。僕は自分の 1 日の平均勉強時間がわかりません。というのも僕は時間で考えず、解いた問題の数で考えていたからです（もちろん問題のウェイトによります）。僕は 1 日で数学と物理に限ると、標準問題精講を合わせて 20 問ほど解いていました。また勉強時間を 20 分ずつに分けて勉強していたこともあります。集中力が続かない人はこまめに休憩を取り多くの問題を解けるようにしましょう。

次に受験期のメンタルの持ちようについてです。僕は受験期で最も大事なことはメンタルだと思っています。一人で抱え込むのは無理だと思います。みんなと一緒に頑張りましょう。そのために毎日できるだけ学校に来てください。とにかく学校に来て友達と他愛もない話をして学校生活を楽しみましょう。また、たとえ 1 日勉強ができなくても過剰に心配することはやめましょう。『塵も積もれば山となる』とありますが所詮は塵です。次の日頑張れば大丈夫です。

最後にスマホとの向き合い方について書きます。僕はゲームアプリは消しましたが SNS は入れていました。スマホは禁止せず、むしろ息抜きとしてそれなりに使ったほうがいいと思います。ただし自制心がある人限定です。

きっと何とかなるからあきらめずにがんばってください。

257 金沢大学 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻 合格

自分が皆さんに伝えたいことは、がむしゃらに頑張る続けることは苦しいけれど、その分終わってから振り返ったときに達成感が得られるということです。それは勉強だけではないと思うし、成功してもそうではなくても同じだと思います。ただずっと勉強をしているのは辛いと思うので、勉強する時としない時を自分の中ではっきりと決めて取り組むと良いと思います。例えば、自分は家ではまったく集中できないので学校や塾、図書館などを利用しました。そして、図書館や塾は完全に勉強する場所、家は勉強しなくてもいい場所と自分ルールを設けました。学校でも放課中は友達と喋る時間にするなど区別を付けることで、より集中して勉強することができました。

なかなかモチベーションが上がらない時、やる気が出ない時もあると思います。そんなときは外の空気を吸ったり、寝たり、体を動かしたりしてから「勉強しないとこの使いかけのノートがもったいない」とか、「この教材せっかく買ったのに使わないと可哀そう」とか、自分が動き出しそうな魔法の言葉を唱えてみるのも効果的だと思います。受験が終わってやりたいことを存分に謳歌している近い将来の自分の姿を想像すると、モチベーションアップに繋がりました。

自分は共通テストの点数が思うように取れず、第一志望校の判定がD判定で、担任の先生にもそのまま出願するのは正直厳しいと伝えられました。しかし自分にはここしかないと思いをくくって出願し、努力しました。ギリギリだったからこそ燃え、最後までやり通すことができました。

受験生は思っているよりも多くの人に支えられ、応援されています。あまり話したことがない教科の先生も、事務の方々も、皆さんを応援してくれています。そのことを胸に刻んで勉強に励んでください。試験は二次試験まであるので諦めずにやり続ければきっと結果はついてきます。最後までやり切ってください。応援しています。

258 名古屋工業大学 工学部 電気・機械工学科 合格

まず、周りの環境がとても大切です。簡単に言うと高めあえる仲間を持つことですが、志望大学などは関係ありません。自分から見て頭がいいと思う子を勝手にライバル視していました。「あんなに頭のいい子があれほど頑張っているのに、自分はこのままでいいのか」という気持ちになれます。受験勉強をしていく中で、成績が早く伸びるタイプとそうではないタイプがいます。自分は後者でした。始めるのが早かったものの、共通テスト模試の結果はどんどん周りに追い抜かれ、プレ共通テスト模試の時は落ち込んでいました。けれども共通テスト前日まで必死に勉強を続け、プレの点数から100点以上伸ばすことに成功しました。自分を信じ続けましょう。

実際の勉強方法に関しては、自分で必要なタスクを決め、それを達成しようとするのががむしゃらに努力しました。質も量も大切です。まず月ごとの目標、そして週ごとの目標、最後に毎日

の目標と決めていきます。しかし 1 日の目標は何時から何時までと決めてはいけません。細かく決めすぎると 1 つが崩れた時にその後の予定も総崩れし、その日 1 日のモチベーションが下がるからです。大まかに決めましょう。例えば「数学の微積を今週完成させたい」というとき、自分であればまず青チャートを 3 日かけてじっくりやり、少し難しい参考書の問題に挑戦し、過去問のサイトで微積を中心に演習する。このように予定を立てていました。ここで注意したいことは、微積を固めるなら微積以外やらないということです。気分転換したいときは他単元をやるのではなく他教科をやりましょう。

勉強量に関しては、夏休みまでにどこかの休みで 1 日 12 時間を達成しておきたいです。そうすれば夏休みの勉強時間の 12 時間に対するハードルは下がります。自分は自習専用の塾を強くお勧めします。授業は学校の補習で事足りるからです。補習があるだけで大変なのに、塾の授業はオーバーワークになります。自習専用の塾で学校の復習をするほうが余程効率がいいです。遅めの時間までやっているところを探しましょう。

最後まで諦めなかったこと、周りに宣言して引き下がれなくなったことが自分を合格に連れて行きました。恥ずかしがらず、何を言われようと自分の目標大学に受かることを周りに宣言してみましょう。

259 福井大学 工学部 物質・生命化学科 合格

僕が受験勉強をして失敗した事を書きます。僕は政治経済が苦手な秋ごろに地理に変えようとしたのですが、時期が遅すぎて無理でした。また複素数平面も苦手な 1 月に入ってから確率統計を勉強しました。運良く共通テスト本番はどちらも良い点が取れましたが、私大の出願では不備があって愛工、名城から電話がかかってきました。国公立後期の出願では自己推薦文がある事を締め切りの 2 日前くらいに知り、急いで書きました。たまたま担任の先生が学校にいて無事出願できましたが、この日は名城大学の試験の前日でした。こうならない為にも早めに準備に取り掛かると良いと思います。

僕は家だとやる気が起きないので図書館に行って勉強していました。図書館でもやる気が起きない日は、受験直前でない時には家に帰り、ゲームして映画やアニメを見て明日頑張ろうと思っていました。でも明日頑張ろうとしても基本頑張れませんでした。また年末年始は図書館が開いてないので、家で 1 日 1 時間を目標にしていたのですがそれすら厳しかったです。自分で勉強できない人は絶対に補習に行くべきです。僕は本当に補習に助けられたと思っています。

また共通テスト後は、モチベーションを維持することが難しかったです。僕は図書館でスマホを触りすぎて通信制限がかかったのが結果的によかったです。どうしても集中できずスマホを見てしまう時は、周りにいる友達にスマホを預けると良いと思います。そうすると寝るか勉強するかのどちらかしかなので、強制的に勉強ができます。

受験を甘く見ていると痛い目に遭うかもしれませんが、気負いすぎずに自分ができる範

囲で頑張ってみてください。皆さんが第一志望の大学に合格できるよう応援しています。

260 静岡大学 工学部 電気電子工学科 合格

私が受験を通して感じたことは 3 つあります

まず 1 つ目は、頑張れば成績は必ず伸びるということです。3 年生になって受験勉強を始めると、ほとんどの人が成績の伸び悩む時期を経験します。その時期は何をやっても成績がなかなか伸びないので、勉強への熱意がどんどんそがれていきます。ですが、その時にどれだけ勉強を頑張れたかによって、その先の未来は大きく変わります。頑張り続けた人はある時急激に成績が伸びるし、やらなかった人は周りとは大きな差ができてしまいます。成績が伸び悩んでも諦めずに最後まで頑張って欲しいと思います。

2 つ目は、同級生の力は自分が思っているよりも大きいということです。私の話になりますが、私は国公立前期入試で不合格でした。しかも、同じ大学を目指している同級生の中で自分だけ落ちました。前期合格発表の後、私はとても追い詰められていて、後期入試へのやる気はほぼ無くなっていました。そんな状態で次の日補習を受けるために学校へ行くと、そこには前期で受かっているはずの同級生が補習を受けるために座っていたのです。その同級生の結果がどうであれ最後まで補習をやりきる姿勢が、私の後期入試へのやる気をもう一度出させてくれました。

3 つ目は、先生たちは誰よりも生徒たちの合格を願ってくれているということです。先生たちは、過去の合格実績などをもとにして生徒たちがより良い道に進めるように全力でアシストしてくれます。また、受験対策講座などで受験日まで一緒に並走してくれます。私は、一宮南高校は他校と比べて受験対策のアシストが手厚いと感じています。そのアシストを十二分に利用して、受験を乗り切ってほしいです。

受験は長くつらい戦いになります。その中で自分を応援してくれる人から力をもらいながら頑張りたいです。応援しています。

261 愛知教育大学 教育学部 学校教員養成課程 高等学校教育専攻 数学専修 合格

まず、私が皆さんに伝えたいのは、報われない努力があってもいいということです。なぜかと言うと、報われない努力があるとこの一年で学んだからです。私は所属していた水泳部で成績をより高めるためにクラブチームの練習回数を増やしたら、最後の大会で過去最低のタイムを出してしまいました。また、受験勉強では毎日机に向かって勉強をしていたのですが、共通テスト本番は上手く点をとることができず、志望校のボーダーから 100 点離れているというどうしようもない状況に陥りました。正直に言って立ち直ることなんて不可能で、この世の不運が全て自分に降りかかってきたようにさえ感じていました。ここで私は、努力が報われないならどうすればいいのかと考えました。そして、報われない努力があって

もいいと考えてみました。その結論に至ってからは、受験というものは、努力して合格を掴みとるというカッコいいものではなく、受験日に自分の一番の状態を揃えて、自分の力を発揮するチャンスを掴み、平等に降り注いでいる運を掴み、合格最低点をとるものだと気づきました。だから、もしも共通テストでボーダーに到達していなくても諦めるのは早すぎます。二次試験に勝負をかけてみて、それでもダメなら、後期に強い一宮南高校の先生方を頼ってください。どんなに皆さんが落ち込んでいても、愛のある言葉で立ち直らせてくれます。私はある先生の、努力は他人には見えないから沢山やって失敗してもいいんだよという言葉と、次は君たちがこっち側という言葉に感動しました。そんなときにふと、私はここまでやって良かったと初めて思いました。

たとえ今の努力が報われなかったとしても、ダメだと捉えず取りあえず最後までやり通して見てください。E判定は粘り勝ちして良い判定になりますよ。

262 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 合格

僕が受験を経験して思ったこと、振り返ってみてやってよかったと思うことを書きたいと思います。

まず、一番大切だと思ったことは志望校をいち早く決めることです。勉強の目標が明確になり、学習習慣と集中が続きやすいと思います。目標を明確にしていれば一年の勉強を月単位、週単位で計画を立てることができ、長期的な先の見えない道のりが一週間で記録をつけられるような短期的な道のに変わります。そして勉強に集中でき、継続しやすくなります。

次に大切なことは補習や授業をしっかり受け、予習復習をしっかりすることです。学校を休んで家で勉強はどうしても好き嫌いが出てしまい、勉強時間が偏り集中できなくなるので、学校で集中して勉強したほうが効率よく身につきます。そして学校の補習や授業というのは、現役生にとって大きなアドバンテージだと思います。学校にはみんなと高めあえる環境が整っているので、一人で勉強するより楽しく勉強できます。あと、一人で勉強していたら出会わなかったであろう問題に多く触れさせてもらったことも良かったと思います。さらに予習復習と常に変わらない明確な勉強方法があるので習慣化がしやすいと思います。僕は夏休みの終わりから家での勉強時間が不安定で、志望校が揺らいでしまうことがありました。しかし、予習復習をしっかり行い授業を受けて補習も欠席しないという習慣ができていたので、第一志望校に無事に合格することができました。

最後に受験期に常に僕が意識していたことは後悔の無いように生活することです。例えば、寝る前に英単語を見直すことやスキマ時間を有効活用する、部活を最後までやりきるなど自分に厳しくしてできるだけ時間を無駄にしないこと、もしスマホを触ってしまうときは「後から後悔するかも」と自分に言い聞かせながら生活していました。こうした日々の積み重ねで、自信をもって各入試に挑むことができました。